

ACTi製ネットワークビデオエンコーダー（品番：V2221/V2224*）のご利用にあたり、ご注意いただきたい事項を以下に記載します。

*V2224の発売時期は別途ご案内



2023年4月

i-PRO株式会社

- ①接続したカメラの同軸多重による制御には対応していません。
Panasonic製システムカメラの同軸制御（PTZやアラームなどの通信）はできません。
WJ-GXE500からのリプレイスをご検討の場合は、充分ご注意ください。
- ②RS485（ツイストペアライン）によるカメラの制御は従来のPanasonic製システムカメラに対応していません。
WJ-GXE100からのリプレイスをご検討の場合は、充分ご注意ください。
- ③DIO端子が電源投入時に一時的にオープンコレクタがオンになります。
例えば、エンコーダー側にライトや電気錠を装着してネットワーク経由で制御するような場合
エンコーダーの電源投入時に数秒間ライトが点灯する、電気錠でゲートが解錠するなどの動作が
一時的に起こりますので接続機器の運用性質を十分配慮の上ご利用ください。
- ④エンコーダー機器からの出力端子（V2221）は、電源を切ると出力は停止します。また、入力のループスルー利用は想定していません。
- ⑤音声圧縮はG.711のみのためレコーダーでの録音は可能ですが、みえますねっとビューワーやi-PRO Mobile APPでの
ご利用はできません。レコーダーでのコピーをmp4で行った場合の音声コピーもできません。
- ⑥カメラのPTZ操作などの仕様については、ACTi社のサポートする機器に限るため取り扱いの無いi-PRO社からの
サポートはございません。ご利用の際にはカメラの入手ルートよりお問い合わせください。
- ⑦みえますねっとなどのDDNSに対応していません。他のカメラ等のアクセスを利用した httpポートによるアクセスを検討ください。
- ⑧ブラウザの画像表示については、EdgeのIE-mode以外は対応していません。